

コンソーシアム普及講習会を開催

平成14～15年度地域新生コンソーシアム研究開発事業「焼酎蒸留粕からのエネルギー完全自立・資源循環型商品システムの開発」の成果普及講習会を2月4日に当センターで開催し、県内企業の方々をはじめ各方面から94名の参加がありました。

この事業は、民間企業3社、長岡技術科学大学、鹿児島工業高等専門学校、宮崎大学および当センターで、研究開発を行いました。

研究の一つは、焼酎蒸留粕と新聞古紙の混合物で植物栽培用ポットを製造することであり、ポットの製造条件、植物の生育への影響などを明らかにしました。このポットは、短期の作物よりも長期の作物に対し肥料効果が期待できるなどの研究結果について発表がありました。

一方、焼酎蒸留粕の液部は、多段式UASB（上向流によるメタン発酵装置）リアクターにより、長期連続処理試験を行いました。使用した多段式UASBリアクターは、高濃度廃水の高速な

処理性能を有し、焼酎蒸留粕実廃水でも長期的に安定なメタン発酵処理が可能であることがわかりました。処理試験結果と処理特性などについて発表がありました。

<装置の処理性能>

容積負荷 COD $100\text{kg}\cdot\text{m}^{-3}\cdot\text{d}^{-1}$ 、COD除去率90%

流入COD $10,000\text{mgCOD}\cdot\text{L}^{-1}$ 、HRT2.4hr



コンソーシアム普及講習会

金属材料講習会を開催

金属材料講習会を1月29日に当センターで開催し、県内の関連企業から28名の参加がありました。

日立金属株式会社 小松原周吾技師の講演「冷間工具鋼の基礎と選定」では、金属関連業界で広く使用されている代表的な冷間工具鋼の紹介や工具鋼特性への影響因子、被削性に注目した新材質鋼などについて講演がありました。

鹿児島大学大学院 末吉秀一教授の講演「火山環境における金属材料の腐食」では、火山の影響を受けやすい本県での金属腐食の事例紹介を交えて、火山環境下で起こる金属腐食と通常環境下の金属腐食との違いや原理について講演がありました。

材料選択と腐食の問題は金属関連業界では、身近な課題であるため参加者からの質問も多く、関心の高さがうかがわれました。



金属材料講習会